女狙撃兵マリュートカ（1956）

SOROK PERVYI
THE FORTY FIRST

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ロマンス　戦争
製作国 ソ連
色彩 Color
時間 91分
初公開日 1957/03/09
公開情報 独立映画

【解説】

赤軍の女狙撃兵マリュートカは、四十一番目の敵を射止めた。その敵は白軍の中尉で、彼は負傷しただけですみ捕虜となった。マリュートカは中尉を船で護送することになるが、船は難破し孤島にたどりつく。しかたなく二人だけの生活が始まり、いつしか敵同士の二人の間に愛が芽生えはじめる……。フルシチョフのスターリン批判後、雪どけ時代の始まりを代表する作品で、チュフライ監督の処女作。赤軍の兵士が敵を愛するという、それまでのソ連映画には見られなかったストーリーで、戦争の不条理を訴えた佳作である。しかし、いまから思えば、１９５０年代にすでに女兵士が主人公の映画があるっていうのもスゴイ話だ。さすが、革命時から女兵士を採用していたソ連ならでは。

【クレジット】

監督	グリゴーリ・チュフライ	Grigori Chukrai
脚本	グリゴーリ・コルチュノフ	Grigori Koltunov
撮影	セルゲイ・ウルセフスキー	Sergei Urusevsky
音楽	ウラディミール・クリュコフ	Vladimir Kryukov
出演	イゾルダ・イズヴィツカヤ	Izolda Izvitskaya
	オレグ・ストリジェーノフ	Oleg Strizhenov
	ニコライ・クリューチコフ	Nikolai Kryuchkov

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.